

測量計算・電子野帳 (TS)

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

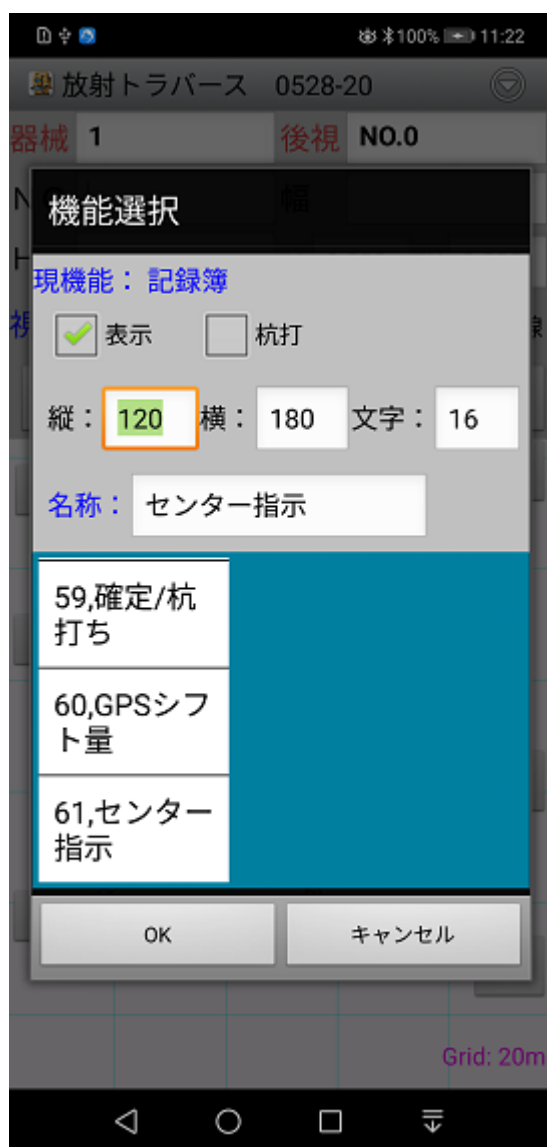
2021/06

Ver3.6.3 で追加、修正された機能を説明します。

- ・マルチボタン、センター指示を追加
- ・APA ファイルの結合を、修正
- ・手書きメモにジオタグを保存

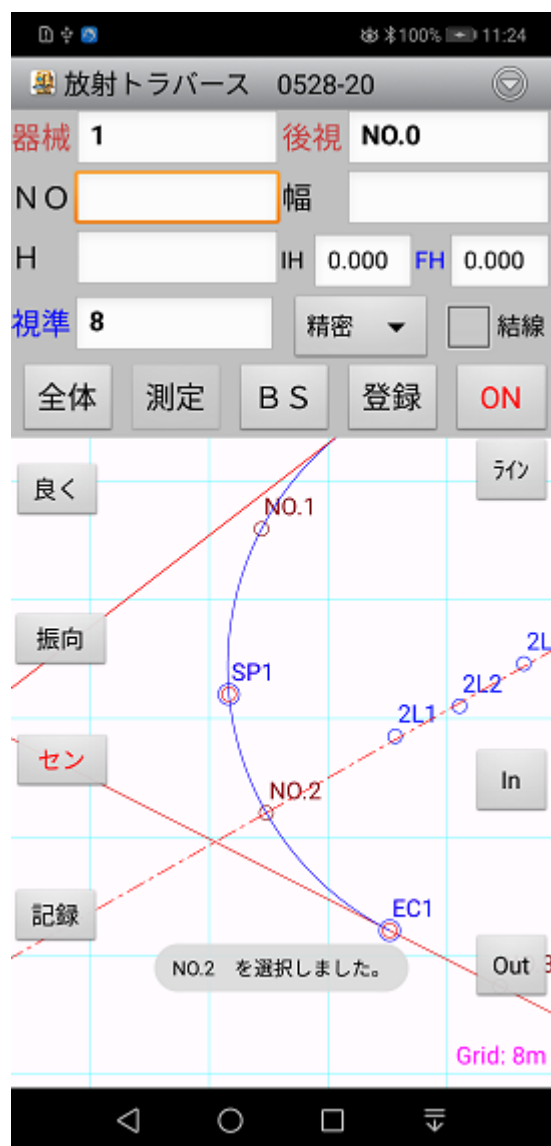
1、マルチボタン、センター指示を追加

「放射トラバース」にて、“逆幅”表示で横断測量を行う場合に
今までは、測定点から逆幅杭計算を行い、センターの位置と幅を表示していました。
半径の小さい路線で、半径を超える横断点を測定すると曲線区間ではなく
直線区間に、逆幅の計算結果が求まり、正しいセンターと幅の表示がされませんでした。
これを解決するには、センターを指示するしか方法がありません。



今回、マルチボタンに“センター指示”を追加しました。
このマルチボタンは、放射トラバースで“逆幅”表示の
場合のみ、表示されます。

中心点を、タップしてください。



測定すると、下記の様に表示されます。



この方式では、NO 杭の表示は無視して OK です。

幅の値は、横断線に測定した点から垂線を下し
その点と、センターとの距離です。

逆幅の計算結果ではありません。

この計算をする為に、センターの指示が必要です。

これで、PC 版(2.63.9)の断面作成と同じ計算に
なりますので結果が同じになります。

そして、画面下を見てください。

右へ: 0.46 と表示されています。

これは必ずセンターに向いての左右です。

右へ、0.46m 移動すれば横断線上ですという意味です。

2, APA ファイルの結合を、修正

APA ファイルの結合で、APA ファイルのリストが左側に表示されます。
このファイルの順番は、フォルダから見つかった順番になっていました。
時には、順番がバラバラでした。
今回、日付の古い順に並べ替えて表示するように変更しました。
時間までは見ていません。

3, 手書きメモにジオタグを保存

掲示板に、要望がありましたので対応しました。
カメラで撮影した画像(jpeg)に、撮影した緯度、経度の情報を含める事が
出来ます。
標準のカメラアプリの設定で、GPS とか Location とか ON にする事で
Android 機の内蔵 GPS の位置が、画像に保存されます。

ご存知の様に、内蔵 GPS の精度は良くありませんので
手書きメモで、撮影し画像に選択した座標点の緯度経度を保存します。
これにより、地図アプリやGISアプリで撮影した正確な位置に
画像を表示する事ができます。

手書きメモでは、3箇所に画像が保存されます。

- 1, DCIM/Camera フォルダ、元画像です。
- 2, 現場フォルダ/MEMO/Camera ファイル名が点名の元画像
- 3, 現場フォルダ/MEMO ファイル名が点名の手書き画像

この中の、1～3の画像に今回位置情報を書き込んでいます。

特別な操作はありません。
撮影と「保存」時に緯度経度を保存しています。

全般 セキュリティ 詳細 以前のバージョン

プロパティ	値
コントラスト	
明るさ	
光源	不明
露出プログラム	
彩度	
鮮明度	
ホワイトバランス	
光度測定解釈	
デジタルズーム	
EXIFバージョン	
GPS	
緯度	36; 0; 0.6273199999999602
経度	136; 0; 0.997970000025816
ファイル	
名前	BC1.jpg
項目の種類	JPG ファイル
フォルダーのパス	C:\ユーザー¥user¥デスクトップ¥MEMO
作成日時	2021/06/05 14:20
更新日時	2021/06/05 14:20

[プロパティや個人情報を削除](#)

OK

キャンセル

適用(A)